

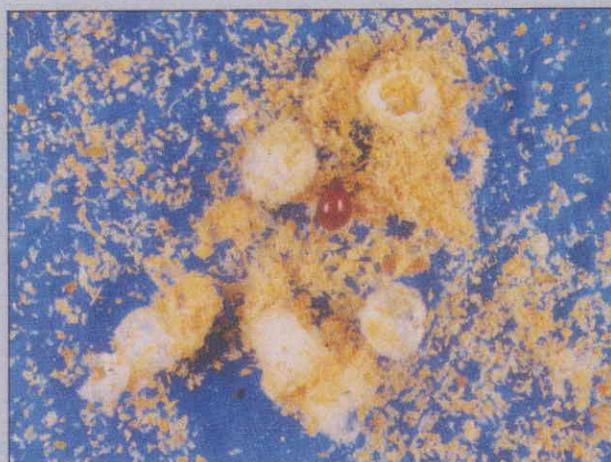
ニセセマルヒョウホンムシ

東京の
生活害虫

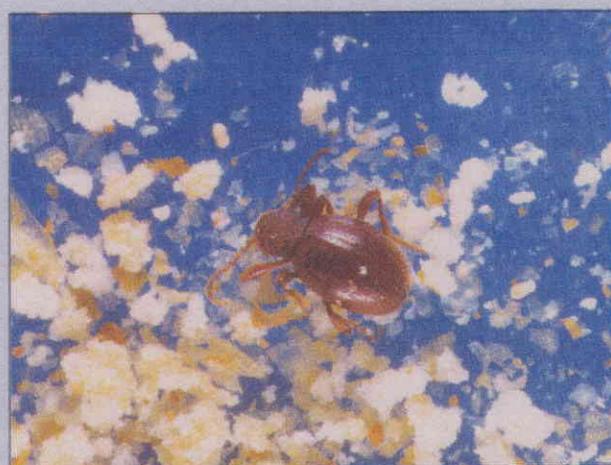
11



●ニセセマルヒョウホンムシ成虫 (体長2~3mm)



●幼虫が作ったマユ



●カバイロヒョウホンムシ (体長2.5mm)

独特の体つきをした甲虫で、室内でよく見付き、不快感を与えます。

形態と被害

体長2~3mmで、光沢のある赤褐色をしています。体は球形で長い触角と脚をもち、よくクモと間違えられます。

成虫・幼虫ともに動植物質のクズや破片、古い食品、動物標本などを食べますが、大きな害を与えることはほとんどありません。

室内を歩いているのがよく見付き、タタミの下に多数の個体が見られることもあります。また、鳥の巣からも発生します。

本種に似ていて、やや細長く光沢が鈍いものはカバイロヒョウホンムシです。生態などは本種と同じですが、それほど多くありません。

防除

発生源を探して、その品物を処分するか、発生場所をきれいに掃除します。実際には発生源を見つけるのが難しいことが多く、わからない場合はタタミの下、床下、天井裏、戸袋(鳥の巣の有無)なども探してみてください。

